

令和6年11月伊勢原市教育委員会定例会会議 日程表

日時 令和6年11月26日（火）

午前9時30分から

場所 議会 第2委員会室

開 会

議 事

日程第 1 前回議事録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第40号 令和6年度12月補正予算（案）について（地方行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見について）

その他

閉会

令和 6 年 11 月 20 日

市議会 9 月定例会において生じた教師用指導書の購入に係る追認事案について、同様の再発を防止するため、市長部局とともに検討してきた結果、全庁をあげて以下の対策に取り組むこととします。

1 業務フローの確立・所属マニュアルによる業務の継承

- 教師用指導書（前期分）の購入時期等を前年度とし、確実に引き継ぎます（学校教育課）

2 チェック機能を強化するための事務処理ルールの見直し（事務決裁規程の一部改正）

- 需用費・原材料費における支出負担行為の決裁区分を引き上げ、財務所管課合議等を設定します
(行政経営担当)

3 議決事件となる契約案件の庁内照会・把握の実施

- 例年 12 月に照会する債務負担行為案件に併せて、「議決案件となる契約」を照会し、全体把握するとともに注意喚起を行います（契約検査課）

4 職員研修体制の充実

○ 議会对応に係る研修の実施

管理者実務研修において、議決事件の要件を新たに取り入れます（職員課）

※R6.11/12 実施（以後、毎年実施）

○ 契約事務に係る研修の実施

新採用職員研修において、議決事件の要件を再周知します（契約検査課）

※R6.11/ 1 実施（以後、毎年実施）

5 全庁的な手引き・案内等による注意喚起

○ 「予算執行の留意事項」等への記載

年度当初における通知等において、議決事件の要件を注意喚起します（財政課）

○ 「契約の手引き」等への記載

工事・物品に係る契約事務の案内に、議決事件の要件を記載します（契約検査課）

※実施済み

○ 定例会等の議案照会時において、毎回注意喚起を行います（文書法制課）

以上

令和6年10月臨時会・総括質疑表

答弁者

発言順	質問者		質問事項
	議席	氏名	
1	9	大垣 真一	<p>1 総論</p> <p>(1) 令和5年度決算に対する新市長の視点からの見解について</p> <p>(2) 第6次総合計画の進捗状況について</p> <p>(3) 第6次行財政改革推進計画の進捗状況について</p> <p>(4) 決算状況指数について</p> <p>ア 財政力指数について</p> <p>イ 経常収支比率について</p> <p>ウ 健全化判断比率について</p> <p>(5) 財政構造について</p> <p>2 歳入について</p> <p>(1) 自主財源と依存財源について</p> <p>(2) 収入未済額について</p> <p>(3) 経常的収入と臨時的収入について</p> <p>3 歳出について</p> <p>(1) 義務的経費と投資的経費について</p> <p>(2) 経常的経費について</p> <p>4 特別会計について</p> <p>(1) 国民健康保険事業特別会計について</p> <p>(2) 後期高齢者医療事業特別会計について</p>

歴史文化推進担当部長
学校教育担当部長

2	1 6	橋田 夏枝	<p>1 総論</p> <p>(1) 令和 5 年度決算に対する市長の見解について</p> <p>(2) 令和 5 年度予算編成大綱との整合性について</p> <p>(3) 第 6 次行財政改革推進計画について</p> <p>2 収支と財政構造について</p> <p>(1) 実質単年度収支額について</p> <p>(2) 収入未済額と不納欠損額について</p> <p>(3) 財政力指数について</p> <p>(4) 経常収支比率の悪化について</p> <p>3 歳入と歳出</p> <p>(1) 義務的経費と投資的経費について</p> <p>(2) 各基金の運用について</p> <p>4 主要な施策について</p>
3	1 3	米谷 政久	<p>1 総論</p> <p>(1) 令和 5 年度決算に対する市長の見解について</p> <p>(2) 第 6 次総合計画の令和 5 年度の取組状況について</p> <p>(3) 決算状況指数について</p> <p>(4) 市債償還元金について</p> <p>2 歳入について</p> <p>(1) 自主財源と依存財源について</p> <p>(2) 各基金の運用について</p> <p>3 歳出について</p> <p>(1) 義務的経費と投資的経費について</p> <p>教育部長</p> <p>(2) 重要施策事業及び新規・拡大事業の成果について</p> <p>(3) 不用額の内訳と見解について</p> <p>4 特別会計について</p> <p>(1) 国民健康保険事業特別会計について</p> <p>(2) 介護保険事業特別会計について</p>

4	5	山田 昌紀	<p>1 総論</p> <p>(1) 令和5年度決算に対する市長の見解について</p> <p>(2) 重点事業の取組に関する成果について</p> <p>(3) 第6次行財政改革推進計画の令和5年度の取組と成果について</p> <p>(4) 決算状況指数について</p> <p>ア 財政力指数</p> <p>イ 経常一般財源比率と経常収支比率</p> <p>ウ 実質公債費比率</p> <p>エ 将来負担比率</p> <p>2 歳入</p> <p>(1) 自主財源と依存財源について</p> <p>(2) 経常的収入と臨時的収入について</p> <p>3 歳出</p> <p>(1) 義務的経費と投資的経費について</p> <p>(2) 経常的経費について</p> <p>4 特別会計</p> <p>(1) 国民健康保険事業特別会計について</p> <p>(2) 介護保険事業特別会計について</p>
5	2	今野 康敏	<p>1 総論</p> <p>(1) 決算状況に対する市長の見解について</p> <p>(2) 第6次総合計画・実施計画に位置づける重点事業の取組について</p> <p>ア 防災・安全分野について</p> <p>イ 福祉・保健分野について</p> <p>ウ 子育て・教育分野について</p> <p style="text-align: right;">市長</p> <p>2 決算の分析について</p> <p>(1) 実質収支等の分析について</p> <p>(2) 財政指標に対する現状分析と財政健全化の対応について</p> <p>3 歳入について</p> <p>4 歳出について</p> <p>5 特別会計について</p>

6	6	川添 康大	<p>1 総論</p> <p>(1)市民の暮らしの認識について</p> <p>(2)伊勢原市第6次行財政改革推進計画の取組結果について</p> <p>ア 市職員の時間外勤務の縮減について</p> <p>イ 業務量調査等による行政運営の最適化について</p> <p>ウ 不燃物収集のアウトソーシングについて</p> <p>エ 児童コミュニティクラブの運営委託について</p> <p>(3)財政指標等について</p> <p>(4)パートナーシップ宣誓制度の取組結果について</p> <p>2 歳入について</p> <p>(1)地方消費税交付金について</p> <p>(2)国庫支出金について</p> <p>(3)市債について</p> <p>3 歳出について</p> <p>(1)県内16市の比較で子育てや教育にお金をかけないことについて</p> <p>(2)基金について</p> <p>ア 財政調整基金について</p> <p>イ 伊勢原市公共施設等総合管理基金について</p> <p>ウ 伊勢原市市街地再開発基金について</p> <p>4 国民健康保険事業特別会計について</p> <p>5 介護保険事業特別会計について</p>
---	---	-------	--

令和6年度
全国学力・学習状況調査

結果及び分析



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

伊勢原市教育委員会教育指導課

令和6年度 全国学力・学習状況調査の伊勢原市結果の分析について

伊勢原市教育委員会

伊勢原市では、児童生徒の学力や学習状況に関し、継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、文部科学省「令和6年度 全国学力・学習状況調査」を実施しました。
伊勢原市立小中学校の調査結果の概要をお知らせします。

【調査日時】 令和6年4月18日(木)

【調査対象学年・参加人数】 小学校6年生 749人 中学校3年生 701人

【調査内容】

1 教科に関する調査

- ・小学校:国語、算数 中学校:国語、数学
- ・出題範囲:調査する学年の前学年まで
- ・出題内容:「知識・技能」及び「活用」に関する問題を一体的に出題
- ・出題形式:記述式の問題を一定割合で導入

2 児童生徒に対する質問調査、学校に対する質問調査

【調査結果についての留意事項】

- 実施教科が国語、算数・数学の2教科であり、学習指導要領のすべてを網羅するものではないことから、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること。
- 年度によって問題の質が異なるため、平均正答率の経年変化のみから、学力の向上、低下の傾向を評価することは難しいこと。

1 教科に関する調査の結果から

(1)平均正答率

小中学校共に、全国及び神奈川県と比較して、正答数・正答率と大きな差は見られませんでした。

《令和6年度 教科に関する調査の平均正答数と平均正答率(%) (公立小中学校)》

令和6年度	小学校調査				中学校調査			
	国語		算数		国語		数学	
	(14問)		(16問)		(15問)		(16問)	
	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)	正答数 (問)	正答率 (%)
伊勢原市	8.9	63	9.7	61	8.7	58	8.2	51

※県及び市の平均正答率は、国から小数第1位を四捨五入した整数値で提供されています。

(2)教科・設問ごとの分析結果

教科に関する調査結果について、各教科・設問ごとに分析したところ、習得の状況が良好であると見られる特長と指導の改善・充実が求められる課題が見られました。

～主な特長と課題～

小 学 校	国 語	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ・話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。 ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。 ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。 ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
	算 数	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を、□を用いた式に表すことができる。 ・直方体の見取図について理解し、かくことができる。 ・角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。 ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。 ・早さの意味について理解している。 ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。 ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。

中 学 校	国 語	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と事象など情報と情報との関係について理解している。 ・行書の特徴を理解している。 ・目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・表現の技法について理解している。 ・短歌の内容について描写を基に捉えることができる。 ・話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができる。
	数 学	特 長	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる。 ・二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができる。
		課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる。 ・事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができる。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ・筋道を立てて考え、証明することができる。

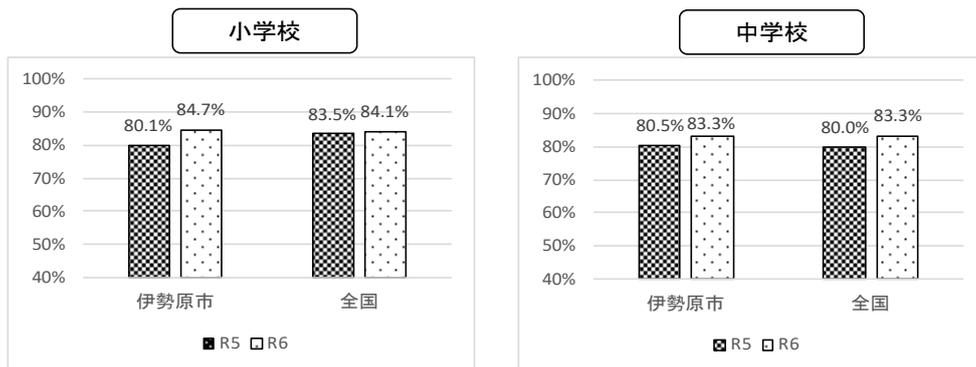
2 児童生徒質問調査の結果から

* 各グラフの数値は、質問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童生徒の割合を示しています。

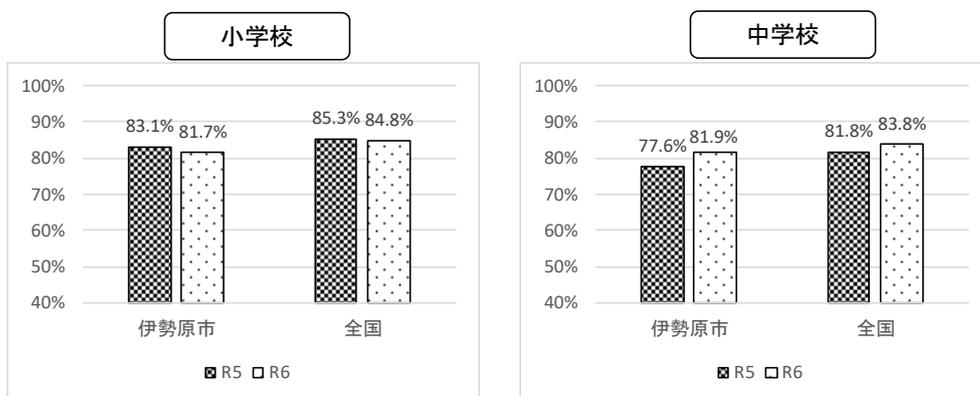
(1) 児童生徒の生活に対する意識に関して

- ・自分にはよいところがあると感じている児童生徒の割合は、小学校においては昨年度より増加し、中学校においては昨年度よりやや上昇しています。引き続き、各校での教育活動や道徳教育など、さまざまな場面で、児童生徒の自己存在感や自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成に努める等、個や集団に応じた指導に留意する必要があると考えます。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答している児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに高い状態です。今後も、児童生徒の意識を高めていく取組を継続していく必要があります。

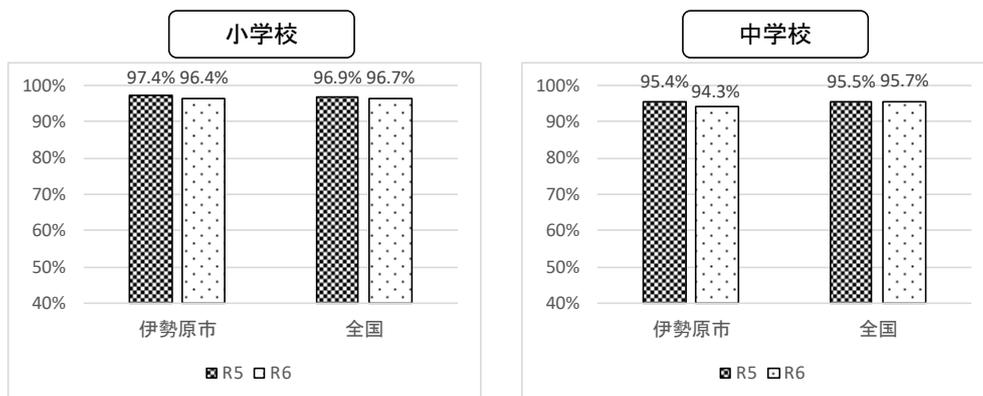
Q「自分には、よいところがありますか」



Q「学校に行くのは楽しいと思いますか」



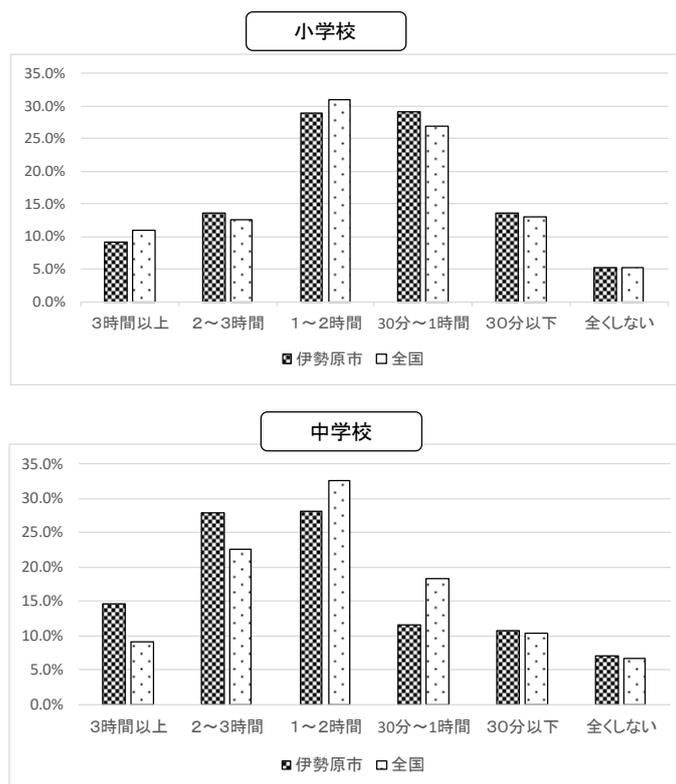
Q「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」



(2)家庭学習に関して

- ・学校の授業時間以外で月曜日から金曜日についての1日当たりの勉強に充てる時間の割合は、小学校では昨年度と比較すると2時間以上勉強する割合が増加しています。中学校も2時間以上の割合が高い状態です。
- ・一方で「全くしない」割合は、昨年度と比較して小学校で増加し、中学校においても一定数を占めているのが現状です。
- ・主体的に学習に取り組めるように、学習課題を明確にするとともに、勉強の仕方を指導することが必要と考えます。学校と家庭とが連携して、学校の学びを家庭へつなげることも大切です。

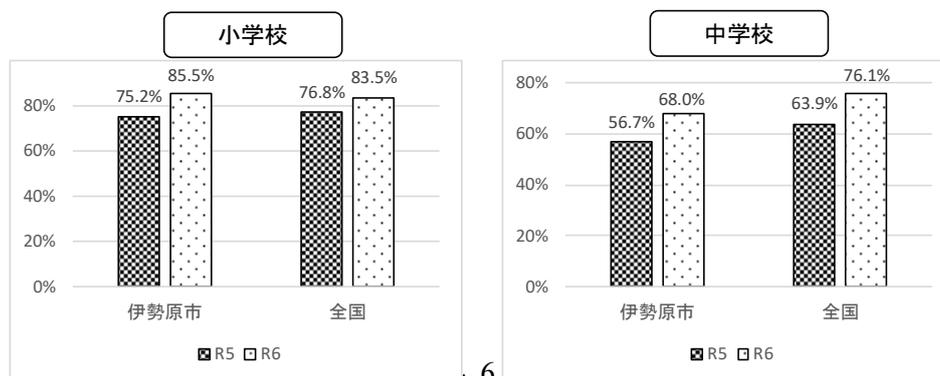
Q「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」



(3)地域や社会に関わる活動等の状況について

- ・地域や社会をよくするために何かしたいと考えることがある児童生徒の割合は、昨年度と比べると小学校、中学校ともに大幅に上昇しています。
- ・しかしながら、小学校から中学校にかけては、全体の割合が低下している実態を踏まえ、今後も社会に開かれた教育課程の実現のため、継続して地域の魅力やよさを生かした学習活動に取り組むとともに、地域とともに児童生徒を育てていく必要があります。

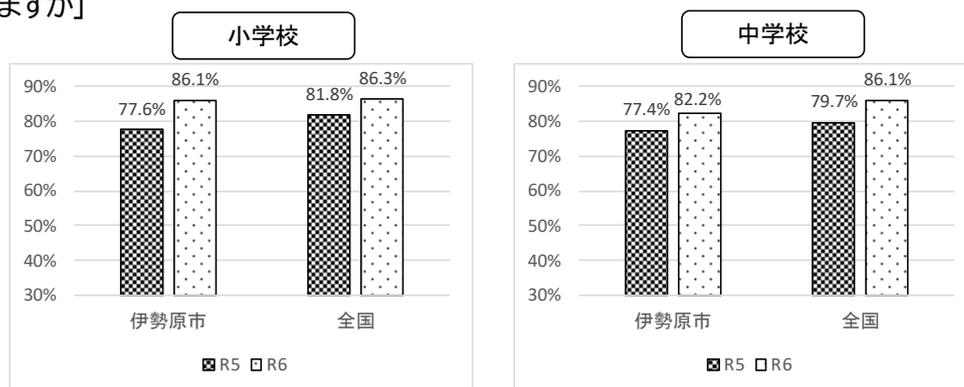
Q「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」



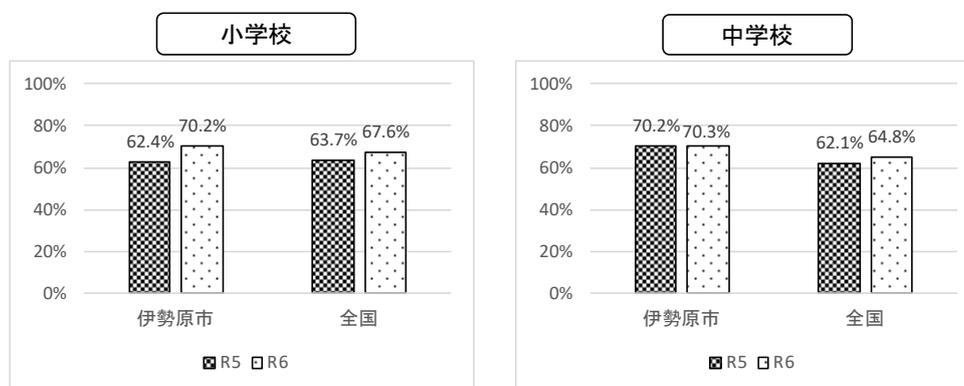
(4)主体的・対話的で深い学びの視点から

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と、主体的・対話的で深い学びの視点からの活動に関するそれぞれの項目において、小・中学校ともに向上が見られ、全国と比較して大きな差はありません。
- ・引き続き、話し合う活動や自分の考えを発表する学習をさらに充実させていくことが必要です。また、思考力・判断力・表現力等の基盤となる言語能力の育成に当たって、児童生徒の発達段階に応じた問いや言語活動を設定するなど、指導を工夫していくことが重要です。さらに、課題設定の工夫や言語活動の充実等を通して、児童生徒が主体的に学ぶ意欲を高めていく必要があります。

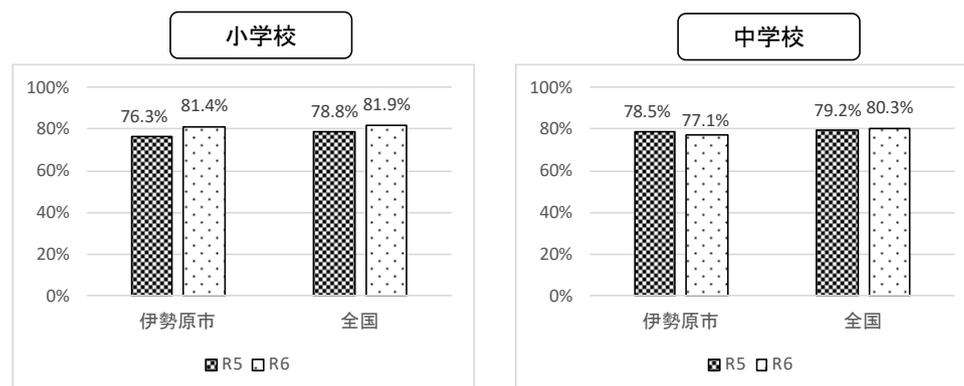
Q「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか」



Q「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」



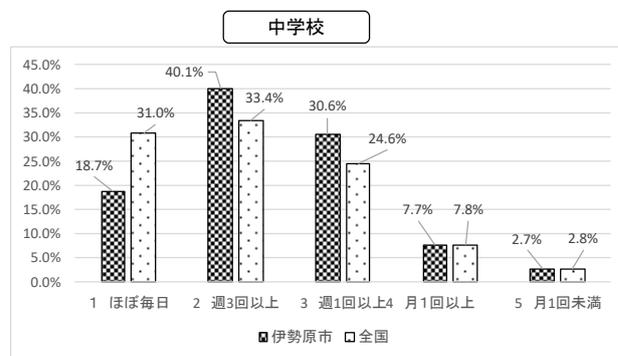
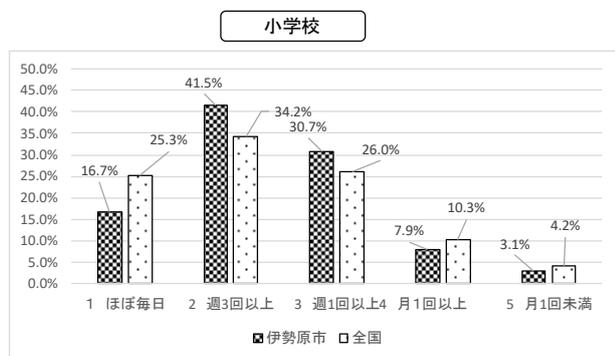
Q「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」



(5)ICTを活用した学習状況

- ・授業におけるPC・タブレットの利用の頻度は、小学校においては昨年度と比較しても割合は高い数値を維持しています。一方、中学校における使用頻度は昨年度に引き続き高い状況です。
- ・学習におけるそれぞれの場面において、PC・タブレットを用いた指導方法について引き続き研究を進めるとともに、児童生徒の資質・能力を育成するため、ICT機器の効果的な活用を図っていく必要があります。

Q「5年生(2年生)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」



3 児童生徒質問調査と教科に関する調査のクロス集計結果から

児童生徒質問調査の結果と教科に関する調査結果との関係を見ると、次のような児童生徒の方が、教科の正答率が高い傾向が見られました。

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・普段(月曜日から金曜日)の、1日当たりのテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする時間が少ない。
- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりに勉強する時間(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)が長い。
- ・新聞を読んでいる。
- ・授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- ・前年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などと感じている。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ・先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思っている。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

4 学校がよりよい授業実践に向けて重視していきたいこと

各学校では、次のような点を重視し、全学年・全教科を通じて授業の充実を図る必要があります。

- ・習得した知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の資質・能力をはぐくむため、各教科において、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組むこと。
- ・1人1台端末をはじめとしたICT機器を効果的に用いることで、主体的・対話的で深い学びや個に応じた指導の充実を図ること。
- ・各学年・各教科での言語活動の実施状況や課題設定の工夫について職員間で共有するなど、学校全体としての取組を充実すること。
- ・家庭との連携を図りながら、発達の段階に応じて家庭での学習課題への取組を指示したり、学習計画の立て方や学び方について具体例を挙げながら指導したりすることで、児童生徒が自主的に学ぶ力を育むこと。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体の教育活動の改善に生かすとともに、引き続き、保護者や地域の方との協力・連携を進めること。

【小学校国語】

- ・学習活動や日常生活において文や文章を書く際、必要に応じて漢字を使う意識がもてるように指導する。その際に、漢字のもつ意味を考えさせ、熟語や同音異義語に注意して使うことなどを身に付けられるようにする。
- ・書き言葉としての文章だけでなく、文章を読むときにも主語と述語の適切な係り受けについて意識するようにする。また、話し言葉としての話の中でも主語と述語との関係に気付かせるようにする。
- ・物語を読む際には、登場人物の心情を行動や会話、情景などの文章表現と結び付けながら想像を膨らませるようにする。そのために、根拠となる言葉に注目し、線を引いたり言葉で説明したりするようにする。
- ・様々な表現が読み手に与える効果について自分で考えたことを表現するようにする。また、比喩や反復などの表現の工夫に着目し、表現の効果に気付けるようにする。

【小学校算数】

- ・立体図形を観察したり構成したりする活動を通して、実感を伴って理解できるようにするとともに、図形の意味や性質を基に必要な情報を判断し問題を解決できるようにする。
- ・異種の2つの量の割合として捉えられる数量を比較する際、場面に応じて処理の仕方を考えることができるようにする。
- ・速さの意味に基づいて道のりや時間を求めたり、図に表したりしながら、問題場面と比べて求めた速さが妥当かどうかを判断できるようにする。

【中学校国語】

- ・ 話や文章を理解する際に、どの部分が意見でどの部分が根拠なのかを確かめたり、示した根拠が意見を支えるものになっているかを確かめたりするなど、情報と情報との関係を捉えることができるよう指導する。
- ・ 詩歌を扱う授業で、同じ表現技法が使われている作品を比較して、効果の共通点や相違点を検討するなど、具体的な表現と結び付けながらそれぞれの表現技法について理解が深まるように指導する。
- ・ 短歌などの作品を鑑賞する際に、複数の短歌を読み比べて共通点を見いだして複数の作品を関係づけたり、共通するものの中で違いを考えたりするなどすることで描写を基に内容を捉えることができるように指導を工夫する。
- ・ 話し合い活動では自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして自分の考えをまとめ、自分の考えの基になった発言や話し合いの内容を述べることができるように指導する。

【中学校数学】

- ・ 具体的な数で計算することから、成り立つ性質を生徒が見いだしたり、見いだした性質について文字を用いて表現する方法を検討したりするなどの機会を設けられるように指導する。
- ・ 具体的な事象の中から、関数関係にある二つの数量 x, y を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、その関係を文字を用いた式で表現できるよう指導する。
- ・ 文字を用いた式を活用して、数量や数量の関係を簡潔、明瞭で一般的に表現し処理することができるよう指導する。
- ・ 証明に用いた前提や証明の根拠、結論を整理するなどして証明を振り返り、新たな性質を見いだす活動を取り入れ、論理的に考察し表現する力を養うよう指導する。

5 家庭にお願いしたいこと

進んで学ぶ子どもを育てるために、家庭においても特に次の点について、ご指導をお願いします。

- ・ 規則正しい生活習慣を心がけましょう。
例) 早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習や読書等の習慣 等
- ・ 家族で、学校や地域、社会での出来事、将来のことなどについて話題にしてみましょう。
- ・ 日常生活の中での「達成感」を大切にしましょう。
例) 家庭の中で子どもに役割を与えましょう。子どものがんばりをほめましょう。
- ・ ボランティア活動や地域の行事等と一緒に参加しましょう。
例) 公民館まつり、総合防災訓練、地区・学区体育祭などへの参加 等
- ・ テレビゲームや携帯電話・スマートフォン等の使い方について、話し合しましょう。
「スマートフォンの使い方 フォン当に大丈夫? ~STOP!! 1タップ~」
(令和3年度伊勢原市中学生からのスローガン)



伊勢原市教育委員会では、家庭学習の手引きとして、冊子『**学びのすすめ**』を作成し、学校を通じて家庭に配布しています。ぜひご活用ください。

参考 冊子『**学びのすすめ**』は、伊勢原市教育センターのウェブサイト内リンクリストからダウンロードできます。伊勢原市教育センターURL <http://www.isehara.ed.jp/center/>

令和6年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼
コミュニティ・スクール研修会について（報告）

令和6年11月
教育指導課

令和6年度伊勢原市学校・地域連絡調整会議兼コミュニティ・スクール研修会を開催しましたので、次のとおり報告します。

1. 日 時 令和6年11月5日（火） 午後3時00分から午後4時40分

2. 場 所 伊勢原市役所2階 2CD会議室

3. 出席者 21名

(1) 各校学校運営協議会代表者

- | | | |
|---------|-------|-------------------------------|
| ・伊勢原小学校 | 安藤 勝基 | PTA会長 |
| ・大山小学校 | 石川 高夫 | 地域学校協働活動推進員 |
| ・高部屋小学校 | 足立 幹夫 | 高部屋地区自治会 連合会 副会長 |
| ・比々多小学校 | 熊谷 吉祥 | 学校運営協議会会長（放課後自習教室 未来っ子クラブ 代表） |
| ・成瀬小学校 | 石塚 京子 | 学校運営協議会副会長（地域学校協働活動推進員） |
| ・大田小学校 | 石井 洋一 | 学校運営協議会会長（大田地区自治会代表） |
| ・緑台小学校 | 梶原 薫 | PTA会長 |
| ・竹園小学校 | 越水 真理 | 地域学校協働活動推進員 |
| ・山王中学校 | 安達 浩志 | 地域学校協働活動推進員 |
| ・成瀬中学校 | 加藤 俊之 | 学校運営協議会会長（石田地区東民生児委員） |
| ・伊勢原中学校 | 柏木 貞俊 | 学校運営協議会会長 |
| ・中沢中学校 | 本間 崇敬 | 学校運営協議会会長 |

(2) 学校代表者

- | | | |
|---------|-------|--------|
| ・小学校長会長 | 濱田 保 | 大田小学校長 |
| ・中学校長会長 | 宮林 貴子 | 山王中学校長 |

(3) 教育委員会等市職員 7名

4. コミュニティ・スクール研修会

情報提供 教育指導課 係長兼指導主事 笹木 三都子

(1) 学校を開くということ

- ・学校運営を開く（コミュニティ・スクール）
- ・教育内容を開く（地域学校協働活動）
- ・施設を開く（共創空間：様々なバックグラウンドを持つ社内外の人材が交流、創造する場である）

コミュニティ・スクールの目的

- ・未来を学校と地域で共に創ることが目的
- ・そのための手段であり、「人と人をつなぐ仕組み」
- ・学校運営協議会は学校の最大の応援団であり辛口の友人のようなもの

(2) 学校運営協議会における「熟議」とは

- ・「熟議」とは、「協働」を目指した対話のこと。（文部科学省「熟議カケアイ」より）
- ポイント 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、解決策が洗練され、施策が決定されたり、個々人が納得して自分の役割を果たしたりするようになる。
- 付箋を使用して進める場合の例
 - ①全体でテーマの共有、関係資料の確認
 - ②人数が多い場合はグループを分ける
 - ※多くても7～8人。様々な立場の人で構成
 - ③自己紹介（初めての参加者がいる場合）
 - ④テーマについて、付箋に単語や短い文で書き出す
 - ※1枚の付箋に書くのは、2行程度まで
 - ⑤付箋を白紙やホワイトボードに貼りながら、自由に意見交換
 - ⑥ファシリテーターが付箋を整理 ⑦各グループで出された意見を全体共有

5. グループ別情報交換及び協議で出された話題（一部抜粋）

○Aグループ

- ・地区懇談会で様々な意見が言い合える良さがある。親子木工教室をコーディネーターが音頭をとって再開できた。無理のない挨拶運動の取組（登校時間にゴミ出しをする等）。感謝の会でフィードバックがある。夏休みに全教職員と情報交換をする会をもった。考えることが実現するかしないか主導する人の重要性。

○Bグループ

- ・様々なイベントに参加しているがもう少し広がりがあれば。学習支援を公民館で開催。ミシンボランティアでテレビカバーを作成。月1で学校行こうDAYが開かれている。年3回の会議は少ない。熟議にいたらない。もっと地域の社会団体等紹介したい。

○Cグループ

- ・地域の全盲アコーディオン奏者の方を呼んで演奏を聞いたり校歌を一緒に歌ったりして感動した。米の収穫や麦の種まき等の活動をしている。災害が多いので段ボールトイレの体験ができれば。中学校では熟議までいたっていない。まんパワーが足りない。学校、自治会、行政の連携ができれば。

○Dグループ

- ・地域の方がとても熱心。PTAに頼っている部分もある。任意の加入となると今後どのように支えていくのか。不登校が増えている中、家でも学校でもない地域で場所を作れたら。それぞれ地域の特性があるので、地域から活動が広がっていく学校とそれが難しい学校もある。

令和6年度伊勢原市一般会計補正予算（第6号）について（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見について）

令和6年度伊勢原市一般会計補正予算（第6号）について、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和53年伊勢原市教育委員会規則第9号）第2条第1項第3号の規定により提案する。

令和6年11月26日提出

伊勢原市教育委員会
教育長 山口 賢人

提案理由

令和6年度伊勢原市一般会計補正予算（第6号）について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、議会の議決を経るべき事件の議案について市長から意見を求められたため。

令和6年度12月補正予算（案）について

教育部（教育総務課）

1 重要文化財 木造四天王立像ほか6件 美術工芸品防災施設整備事業への国庫補助随伴

(1) 事業概要

6月末の豪雨により、宝城坊宝殿において雨漏りが発生し、収蔵されている国指定重要文化財である旧本堂内厨子、木造四天王立像及び木造十二神将立像の各2体に水滴がかかる被害が確認された。このため文化庁と調整し、急遽屋根の改修工事を実施することとなった。このことに対し、市条例、要綱に基づき、補助金を交付して事業者である宝城坊を支援する。

(2) 補正予算の内容

歳出予算

予算科目：09.04.01.544.012 文化財保存・修理事業費：1,495千円（負担金・補助及び交付金）

(3) 交付先

宗教法人宝城坊 代表役員 内藤京介（伊勢原市日向1644）

(4) 補助金の交付及び額の算出根拠

改修工事は文化庁の「令和6年度国宝重要文化財等防災施設整備事業費補助金」の交付決定を受けて実施されることから、「伊勢原市文化財保護条例」、「伊勢原市文化財保存修理・管理等補助金交付要綱」に基づき、事業者が負う自己負担額の一部を補助するものである。

総事業費 12,820,000円 － 国庫補助交付決定額 8,333,000円 = 4,487,000円

4,487,000円 ÷ 3 = 1,495,666円

市補助金額 1,495,000円

教育委員会等関連主要行事一覧（令和6年12月・1月）

◆教育委員の出席を依頼する行事等は、最右欄に「●」印を付しています。（別途、個別に、各委員に対して、出席依頼いたします。）

No.	行事名	開催場所	開催日	時間	主催	所管課	教育委員への出席依頼
1	教育委員会12月定例会	市役所 議会 第3委員会室	R06.12.24(火)	9:30 ~ 12:00	教育委員会	教育総務課	●
2	子ども科学館ナイトミュージアム	伊勢原市立子ども科学館	R06.12.27(金)	18:00 ~ 19:30	教育委員会	図書館・子ども科学館	
3	学校訪問(伊勢原中学校)	伊勢原中学校	R07.01.16(木)	PM ~	教育委員会	教育指導課	●
4	伊勢原市中学校生徒美術展	中央公民館 展示ホール	R07.01.17(金) ~ R07.1.19(日)	9:00 ~ 17:00	教育委員会	教育センター	
5	タンポポ展	伊勢原文化会館 展示室	R07.01.25(土) ~ R07.1.26(日)	10:00 ~ 16:00	教育委員会	教育センター	
6	令和6年度 総合教育会議	市役所 全員協議会室	R07.01.28(火)	14:00 ~ 15:30	教育委員会	教育総務課	●
7	教育委員会1月定例会	市役所 全員協議会室	R07.01.28(火)	15:30 ~ 17:00	教育委員会	教育総務課	●

子ども科学館ニュース

2024年11・12月号
Vol.173



伊勢原市立子ども科学館

住所:〒259-1142 伊勢原市田中76番地
電話:0463-92-3600

●子ども科学館ホームページ URL
<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/kagakukan/>



※催し物の内容・開催等は予告なく変更・中止する場合があります。



=工事に関するお知らせとお願い=



9月下旬から子ども科学館の屋上等の防水改修工事が始まりました。工事期間中は以下の変更点がありますのでご確認ください。

- 子ども科学館の2階出入口はご利用になれません。1階図書館の正面玄関からの出入りをお願いします。
- 建物1階部分にある駐車場・駐輪場はご利用になれません。市役所の駐車場・駐輪場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。
- 工事の状況により入館やプラネタリウムを中止する場合があります。また、プラネタリウムはプログラムを変更する場合があります。
- 天体観測室が使えなくなるため、12月から、天体観察会「クーデの日」の会場を伊勢原市役所・文化会館前広場に変更します。詳しくは、子ども科学館のホームページでお知らせします。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



「ほしぞらタイム」のご案内



プラネタリウムの投影日と工事の日程が重なった場合は、通常の投影を中止します。かわりに、**入館者対象無料プラネタリウム鑑賞会「ほしぞらタイム」**を実施します。

実施日：決まり次第、子ども科学館のホームページでお知らせします。

受付：当日受付 入館した方はどなたでもご覧いただけます。

「ほしぞらタイム」では、学習番組や小さいお子様向けの番組、星空を楽しむ時間などご家族皆様でお楽しみいただけるプログラムを予定しています！



©GOTO



©GOTO

◎募集教室のご案内◎

開催日、対象者、申込方法等をご確認の上、お申込みください！



※教室によっては、市広報等でお知らせする場合があります。
定員に達した場合は、受付をしめさせていただきます。
あらかじめ、ご了承ください。

※催し物の内容・開催等は予告なく変更・中止する場合があります。

募集教室の申込方法

- **要申込** の教室は、申込みが必要です。
- 下記、受付開始日から開催日の前々日までに、科学館ホームページからオンラインでお申し込みください。
- 定員に達していない場合は、当日の受付を行います。
当日受付は電話又は科学館受付でお問い合わせください。

【受付開始日】

- 11月 1日～14日の教室 → 10月15日～受付中
- 11月15日～30日の教室 → 11月 1日～受付開始
- 12月 1日～14日の教室 → 11月15日～受付開始
- 12月15日～28日の教室 → 12月 1日～受付開始
- 1月 4日～14日の教室 → 12月15日～受付開始

オンライン申し込み
はこちらから



科学館ホームページ
「イベント情報」
から、お申し込みください。

当日受付、お問い合わせ・お申し込み

伊勢原市立子ども科学館
電話 0463-92-3600

※特に記載がないものは、一緒に参加する大人も含めて、入館料が必要です。

【入館料】小学生以上100円、高校生以上300円

たぬき先生の

たのしいおもちゃ作り

申込不要



- かんたんにできる、科学おもちゃを5つ作ります。
何を作るかは、毎回、おたのしみ！

開催日 毎週(土)・(日)・(祝日)、12月25日、26日
時間 14:30～15:15

対象:4歳～小学5年生 各回8名 (当日受付・先着順)
(小学3年生以下は保護者と参加)

やさしい木工教室

要申込



- 電動糸のこぎりを使って木工を楽しもう。

開催日 11月2日(土)、9日(土)、16日(土)、30日(土)
12月7日(土)、14日(土)、21日(土)
毎月第4土曜日を除く毎週土曜日

時間 13:15～14:15

対象:小学3年生～中学生 各回2名 (先着順)
(小学生は保護者と参加)

親子木工教室

要申込

- やさしい木工教室の2時間スペシャル！親子で楽しもう。

開催日 11月23日(土)、12月28日(土) 毎月第4土曜日
時間 13:15～15:15

対象:小学生～中学生の親子 各回4組8名 (先着順)
※11/23分→11/1～、12/28分→12/1～受付開始

入館者工作・実験教室

要申込

- 科学のふしぎが詰まった、工作や実験を行います。

開催日 毎週日曜日 13:15～14:15

11月 「ぱたぱた板返しを作ろう」
12月 「松ぼっくりのクリスマスツリーを作ろう」

対象:小学生～中学生 各回8名 (先着順)
(小学4年生以下は保護者と参加)

はじめてのプラネタリウム

要申込

- 泣いてしまっても大丈夫です！
お子様の“プラネタリウムデビュー”をしてみませんか？
しゃぼん玉遊びも体験できます。

開催日 11月20日(水) 10:30～11:30

対象:乳幼児とその保護者 20組(1組3名まで)
※11/1～受付開始
※入館料(おとな300円)がかかります。
※しゃぼん玉で汚れてもいい服装でお越しください。



科学工作教室「電子工作に挑戦！」

要申込

- コイルを巻いて、無線でLEDが光る不思議な回路を作ります。

開催日 12月8日(日)
時間 9:30～11:30

対象:小学3年生～中学生 16人(先着順)
※小学4年生以下は保護者と参加

子ども科学館ナイトミュージアム

要申込

- 閉館後の子ども科学館をライトを片手に探検しよう？！

開催日 12月27日(金)
時間 18:00～19:30

対象:小学生～中学生の親子 18組(先着順)
持ち物:懐中電灯

プラネタリウム番組

11/2~12/8 限定

12/14~1/13 限定

今夜、銀河の片隅で

©GOTO

3-2-1 LIFTOFF!
ハムスターのスペースアドベンチャー

©Krutart

おじやる丸
銀河がマロを呼んでいる
～ふたりの願い星～

©丸丸りん・NHK・NEP

めざせ!?!
火星ライブ

©GOTO

この空に
願いをこめて...

©GOTO

●特別投影●

12/14~1/13の投影日限定

この空に
願いをこめて...

中学生向けの学習番組です。ぜひ、この機会にご家族みなさままでご覧ください。

この番組は、市内公立中学校に在学の方は無料で観覧することができます。対象の方は招待券または生徒手帳をご持参ください。

※詳しくはホームページか学校で配布されるチラシをご覧ください。

2025年1月12日に、火星が地球に最接近します。赤く明るく輝く火星について、実際の空を見上げるのがもっと楽しくなる情報をお届けします！

【プラネタリウム観覧料】
 高校生以上:500円
 4歳~中学生:200円
 ※3歳以下の方も座席を利用する場合は料金がかかります。
 ※未就学児の観覧には、必ず保護者の方の付き添いをお願いします。

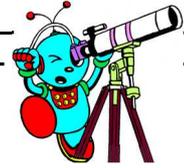
★投影スケジュール★

投影日/開始時刻	10:30	13:30	15:30
11/2(土)~12/8(日)の土・日・祝日	今夜、銀河の片隅で	3-2-1 LIFTOFF!	おじやる丸
12/14(土)~1/13(日)の土・日・祝日	めざせ!?! 火星ライブ	3-2-1 LIFTOFF!	この空に 願いをこめて...
12/25(水)~12/26(木)、1/7(火)	※午前の投影はありません。		

プラネタリウムの投影日と工事の日程が重なった場合は、左記のプログラムではなく、入館者対象無料プラネタリウム鑑賞会「ほしぞらタイム」を実施します。「ほしぞらタイム」の日程や、プログラムは、子ども科学館のホームページでお知らせします。

天体観察会 クーデの日

申込不要 参加無料



開催日 11月9日(土) 18:00~19:00 月齢 8.0 上弦
 会場 子ども科学館天体観測室
 ※当日受付。1階図書館の入口で受付を行います。

開催日 12月7日(土) 18:00~19:00 月齢 6.2
 会場 伊勢原市役所・文化会館前の広場
 ※当日受付。天体観測室での観察はありません。
 太田道灌公の銅像前で受付を行います。

対象:子どもからおとなまで(中学生以下は保護者と参加)

※参加者が多い場合、入場をお待ちいただくことがあります。
 ※工事の状況で、場所を変更する場合があります。変更がある場合、ホームページでお知らせします。
 ※雨天・曇天は中止です。(当日16時頃に開催の可否を子ども科学館ホームページでお知らせします。)

ま屋の星をみよう

申込不要

○天体観測室で「太陽」を観察します。雨天・曇天時は中止です。

開催日 11月2日(土) 11:30~11:50
 会場 子ども科学館 天体観測室
 対象:当日入館された方 20名(当日受付、先着順)
 ※小学生以下は保護者と参加

◎: 予約できるイベント(空きがあれば当日申込み可) ●: 予約不要のイベント ☆: プラネタリウム 投影日

11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
たのしいおもちゃ作り 14:30~15:15		●	●	●					●	●						●	●						●	●						●
やさしい木工教室 13:15~14:15		◎							◎							◎														◎
親子木工教室 13:15~15:15																							◎							
入館者工作・実験教室 13:15~14:15			◎							◎							◎						◎							
わんぱく工作教室 13:00~14:00		●	●	●					●	●						●	●						●	●					●	
キラキラスティック作り ①11:00~②15:30~		●	●	●					●	●						●	●						●	●					●	
サイエンスショー ①11:30~②14:30~			●	●																			●							
プラネタリウム ①10:30②13:30③15:30		☆	☆	☆					☆	☆						☆	☆						☆	☆					☆	
その他のイベント 下記参照		①							②												③									

12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
たのしいおもちゃ作り 14:30~15:15	●						●	●						●	●						●	●			●	●			●		
やさしい木工教室 13:15~14:15							◎							◎								◎									
親子木工教室 13:15~15:15																												◎			
入館者工作・実験教室 13:15~14:15	◎							◎							◎								◎								
わんぱく工作教室 13:00~14:00	●						●	●						●	●							●	●			●	●	●	●		
キラキラスティック作り ①11:00~②15:30~	●						●	●						●	●							●	●			●	●	●	●		
サイエンスショー ①11:30~②14:30~																															
プラネタリウム ①10:30②13:30③15:30 ★は②13:30③15:30のみ	☆						☆	☆						☆	☆						☆	☆			☆	☆		☆			
その他のイベント 下記参照							④	⑤																		⑥					

その他のイベント



- ① 11/ 2 (土) 天体観察会「ま屋の星をみよう」11:30~11:50
- ② 11/ 9 (土) 天体観察会「クーデの日」18:00~19:00
- ③ 11/20 (水) はじめてのプラネタリウム
- ④ 12/ 7 (土) 天体観察会「クーデの日」18:00~19:00
- ⑤ 12/ 8 (日) 科学工作教室「電子工作に挑戦！」
- ⑥ 12/27 (金) 子ども科学館ナイトミュージアム 18:00~19:30

※各教室の予約開始日はニュースの中面に記載してあります。

★イベントの詳細はニュースの中面をご覧ください。
※イベントは変更になる場合があります。

入館者対象の教室 (事前申込不要)

キラキラスティック作り 土曜・日曜・祝日

①11:00~12:00 ②15:30~16:20 (申込不要)
4歳~中学生 入れ替え制

わんぱく工作教室 土曜・日曜・祝日
13:30~14:30
4歳~中学生 入れ替え制

11月「空飛ぶ紙コップをつくろう」
12月「クリスマスカードをつくろう」

(申込不要)

科学実験ステージ「サイエンスショー」 (申込不要)

○科学実験のライブステージ。実験好きは、ぜひご覧ください。
開催日 11/ 3(日・祝)、11/4(月・振替休日)
11/23(土・祝)
時間 ①11:30~ ②14:30~(各回約30分)
※入館者対象。お席に限りがあります(先着順)
※各回の実験内容は未定です。

